

史料館研究教育活動一覽

(2002年発表のもの。ただし、大学等への出講は2002年度)

鈴江 英一

- ・著書『近現代史料の管理と史料認識』北海道大学図書刊行会、2月
- ・自治体史執筆「キリスト教の復興と戦後の宣教」(『新札幌市史』第5巻、3月)
- ・分担執筆『岩波キリスト教辞典』岩波書店、6月
- ・小論「文書館にもアーキビストを」(全史料協『会報』No61、7月)
- ・小論「史料館のめざすもの」(『史料館報』第77号、9月)
- ・科研報告(研究代表)「歴史史料情報の共同集約と共有化に向けてのシステム構築に関する研究」、3月
- ・講義「資料整理論①」「個別課題研究演習①③」(国立公文書館公文書館専門職員養成課程、10月3日・11日・11月28日、東京)
- ・講演「キリスト教解禁前後—明治6年高札撤去をめぐる論争—」(山口県文書館ディズ歴史探究講座、1月20日、山口市)

丑木 幸男

- ・著書『評伝高津仲次郎』(群馬県文化事業振興会、11月)
- ・編著『上野国神社明細帳』第5巻(群馬県文化事業振興会、11月)
- ・編著『上野国神社明細帳』第6巻(群馬県文化事業振興会、11月)
- ・論文「市町村合併と公文書」(『地方史研究』298号、8月)
- ・紹介「群馬県地方史研究の動向」(『信濃』629号、信濃史学会、6月)
- ・講演記録「戸長役場の史料管理と町村合併」(埼玉県地域史料保存活用連絡協議会『会報』第28号、3月29日)
- ・報告「市町村合併と公文書」(日本歴史学協会主催史科学・史料館員問題シ

ンボジウム, 6月15日, 早稲田大学)

- ・報告「市町村合併の歴史と公文書」(全国歴史資料保存利用連絡協議会大会, 10月17日, 富山市)
- ・報告「市町村合併の歴史と公文書」(高知県公文書保存利用研究会, 12月10日, 高知県安芸市歴史民俗資料館)
- ・講演「地方名望家の活動」(11月16日, 栃木県氏家市ミュージアム氏家)
- ・大学出講 駒沢大学人文科学研究科 (日本史学特講)

山田 哲好

- ・共著『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』(横浜市歴史博物館, 10月)
- ・講義「平成13年度歴史講座 古文書を楽しもう」(3月2日・9日・16日・23日, 川崎市民ミュージアム)
- ・研究助成 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)「『史料管理学』文献情報の調査収集と蓄積・検索システムに関する研究」
- ・大学出講 千葉大学文学部「文書館学(A)」
- ・大学出講 立正大学 博物館実習ⅡA・ⅡB(「史料管理学」)

五島 敏芳

- ・論文「宗門人別送り状の成立—引越事例の検討を中心に」(『史料館研究紀要』第33号, 3月)
- ・論文/報告「日本における記録史料記述EAD/XML化の実践—記録史料管理とEAD(符号化記録史料記述)利用をめぐる」(『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集』情報処理学会シンポジウムシリーズVol.2002.No.13, 9月; PNC Annual Conference and Joint Meetings 2002:PNC/ECAL/IPSJ-SIGCH/EBTI「じんもんこん」2002, 9月22日, 大阪)
- ・報告「近世百姓の「工ミ」(たくみ)について—五郎兵衛新田村の訴訟事例

- ・の紹介から」(信濃史学会・信州近世史セミナー・長野県立歴史館共催「信州近世史セミナー・村の生活と信仰」, 2月3日, 長野)
- ・報告「EADの技術的構造と記述およびXML化の実践—その概容と表現をめぐって、あるいは「EAD骨抜き利用法」」(アーカイブズ・インフォメーション研究会「高野山セミナー」, 7月6日, 和歌山)
- ・報告「EAD表現のための情報要素—DTD類と先行適用事例の表現構成の検討」(「広領域分野資料の横断的アーカイブズ論に関する分析的研究」科研(代表者: 八重樫純樹) 研究会・国文学研究資料館史料館共催公開シンポジウム「情報社会とarchives」, 12月24日, 東京)
- ・記事「史料館の収蔵史料目録EAD/XML化」(『史料館報』No.77, 9月)

安藤 正人

- ・編集・解題「島根県立図書館所蔵松江藩郡奉行所文書調査目録・下巻」(島根県立図書館, 3月)
- ・論文「日本軍政期英領マラヤにおける記録文書の状況」(『史料館研究紀要』第33号, 3月)
- ・注釈・監修「本渡市古文書史料集・天草大庄屋木山家文書 御用触写帳第7巻」(本渡市教育委員会, 3月)
- ・小論「『第1回アーカイブズ学博士フォーラム』参加記」(『DJIバイマンスリーレポート』第42号, 国際資料研究所, 1月)
- ・小論「阿波根昌鴻さんのメッセージを未来に伝えるために—阿波根昌鴻資料第1回調査を終えて—」(『花は土に咲く』第4号, 財団法人わびあいの里, 5月)
- ・講演録「歴史記録の共有の重要性」(「国際シンポジウムの記録」編集委員会編「記憶の共有を求めてpartⅡ: 「過去の克服」と真相究明—日米韓で進む歴史事実調査—」所収, 樹花舎, 2月)
- ・講演録「日本のアーカイブズとアーカイブズ学の研究・教育—21世紀の国

際社会にどう貢献するか―」（国際文化会館図書室編集『研究と資料と情報を結ぶ：「日本研究学術資料情報の利用整備に関する国際会議」の記録』所収、国際交流基金、12月）

- ・ 評論「21世紀日本の歴史情報資源とアーカイブズ―大学共同利用機関の再編統合問題に寄せて―」（『歴史学研究』No.761, 4月）
- ・ 記事「この人に聞く―公文書を保存して新たな地域創造に生かそう―」（『市政』第51巻第4号, 全国市長会, 4月）
- ・ 講演「21世紀の地域創造とアーカイブズ」（富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会総会, 5月29日, 富山市）
- ・ 講演「世界の文書館, 日本の文書館」（「芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛」主催「資料保存と文書館」学習集会, 7月14日, 松山市）
- ・ 講演「21世紀の地域創造と天草アーカイブズ」（本渡市文化財講演会, 7月25日, 熊本県本渡市）
- ・ 講演「歴史資料の保存とは何か―古文書・公文書の情報価値を活かす―」（熊本県歴史資料保存講演会, 9月12日, 熊本市）
- ・ 講演「司法資料の保存と専門職の養成」（日本弁護士連合会司法制度調査会司法資料保存特別部会, 10月15日, 東京）
- ・ 講演「『文化創造立国』はアーカイブズ資源の保存から」（自民党デジタル・アーカイブ小委員会, 10月18日, 東京）
- ・ 講義「記録保存の意義とアーキビストの役割」（法政大学産業情報センター・企業史料協議会共催「第7回ビジネスアーキビスト研修講座, 11月14日, 東京）
- ・ 講演「日本植民地・占領地におけるアーカイブズの略奪」（韓国明知大学, 11月29日, ソウル）
- ・ 講演「アーカイブ資源の共有化のために―日本の課題―」（人間総合科学の創出に関する調査研究委員会・研究資源の共有専門部会, 12月21日, 東京）
- ・ 文部科学省在外研修（短期）「戦争とアーカイブズをめぐる国際法と国際慣

- ・行一上海市土地記録ならびに在外公館文書をめぐる日英の確執を中心に一」(英国ロンドン大学ユニバシティ・カレッジ図書館文書館情報学院, 8月1日～8月31日)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)海外学術調査「旧日本植民地・占領地におけるアーカイブズ政策と記録伝存過程の研究」(研究代表者, 3年計画の1年目)
- ・大学出講 学習院大学総合基礎講座「記録保存と現代」(非常勤講師, 4～5月分担)
- ・大学出講 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻「アーカイブズ学研究」(非常勤講師, 7月集中講義)

渡辺 浩一

- ・報告 'The Formalization of Commercial Associations and the Urban Social Structure in the Early Modern Japan' (特別セッション「ヨーロッパとアジアの近世都市における公式・非公式経済」第6回国際都市史学会, エジンバラ大学, 9月7日)
- ・講演「まちの記憶の比較史—播州三木とイングランド・グレイトヤーマス—」(上智大学史学会大会, 11月17日)
- ・大会報告批判「首都論と都市政策」(『日本史研究』477号, 5月)
- ・大学出講 上智大学文学部史学科「日本史特講(都市社会史)」

加藤 聖文

- ・編著『海外引揚関係史料集成 国外篇・補遺篇』全19巻+CDROM 2枚(ゆまに書房, 5月)
- ・編著『堤康次郎関係文書目録』(早稲田大学大学史資料センター, 3月)
- ・共編『台湾総督府文書目録 第10巻』(ゆまに書房, 3月)
- ・共編『台湾総督府文書目録 第12巻』(ゆまに書房, 12月)

- ・論文「敗戦と公文書廃棄—植民地・占領地における実態—」(『史料館研究紀要』第33号, 3月)
- ・論文「満鉄史研究と山崎元幹文書—戦後における散逸の経緯と復元への試論—」(『近代中国研究彙報』第24号, 3月)
- ・報告「植民地体験の拡大と『記憶』化—官と民の人的流動をめぐって—」(東アジア近代史学会第7回研究大会, 6月30日, 東京)
- ・報告「台湾引揚と戦後日本人の台湾観」(国際シンポジウム「台湾の近代と日本」, 10月26・27日, 名古屋)
- ・書評「服部龍二『東アジア国際環境の変動と日本外交』」(『東アジア近代史』第5号, 3月)
- ・小論「記録史料学にとっての情報公開法—外務省『外地整理室』保管文書について—」(『史料館報』第77号, 9月)

大友 一雄

- ・監修執筆「古文書に親しむ」(文化財探訪クラブ11)(山川出版社, 5月)
- ・目録作成・解題「下総国葛飾郡今上村田中吉右衛門家文書目録」(『野田市史研究』13号, 3月)
- ・目録作成・解題「下総国葛飾郡今上村松本三左衛門家文書目録」(『野田市史研究』13号, 3月)
- ・報告「近世の武家社会と能」(国文学研究資料館共同研究報告, 1月29日)
- ・報告「近世の武家社会と文書認識—秋田藩を事例に一」(国史学会大会報告, 5月26日)
- ・講演「江戸幕府と文書管理」(石川県立図書館史料編纂室主催, 5月7日)
- ・講演「徳川将軍の鷹狩と贈答儀礼」(品川区歴史館主催, 7月28日)
- ・大学院演習「幕府・藩の組織構造と文書群の史料学的研究」(国文学研究資料館特別共同利用研究員制度)
- ・大学出講 国学院大学文学部(史料論)

- ・大学出講 東洋大学文学部(古文書学Ⅱ・近世)
- ・研究助成 科学研究費補助金特定領域研究「江戸時代における言語情報の発生・伝達・管理技術に関する基礎的研究」(代表大友一雄他3名)

青木 睦

- ・講演「歴史資料の保存と修復」(平成13年度北海道立文書館主催文書等保存利用機関・団体等職員研修会, 2月14日, かでる2・7)
- ・講義「今後の被災史料救助支援のネットワークと日常の保存について」(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会資料保存委員会研修会, 3月29日, 鳥取県日野郡日野町公民館)
- ・講義「図書館・文書館における虫害対策」(第24回文化財虫菌害保存対策研修会, 6月27日, 自治労会館)
- ・講義「海外におけるアーカイブズの保存修復」(平成14年度全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修会, 10月16日, 富山県国際会議場)
- ・講義「文書資料保存の理論と実務」(法政大学産業情報センター・企業史料協議会主催第7回ビジネスアーキビスト養成講座, 12月5日)
- ・大学出講 学習院大学総合講座「記録保存と現代」(分担講義, 11・12月)

山崎 圭

- ・史料目録『信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録(その1)』(国文学研究資料館史料館, 3月)
- ・大会報告批判「近世史部会大会報告を聞いて」(『日本史研究』477号, 5月)
- ・報告「史料目録の編成と記述—『信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録(その1)』を刊行して—」(房総史料調査会例会, 11月7日, 学習院大学)
- ・大学講義「日本の文書館の歴史と現在」(名古屋大学全学共通科目, 12月16日)

原島 陽一

- ・編著(共編)『江戸町触集成』第17巻(塙書房, 3月)
- ・編著(共編)『江戸町触集成』第18巻(塙書房, 10月)
- ・講義「近代史料の概説と解説」(群馬県立文書館主催, 11月9日・16日)
- ・講演「江戸の市民生活と娯楽」(文化女子大学特別公開講座, 11月26日)

田島 達也

- ・研究ノート「開化絵—史料と美術のはざまで—」(『史料館報』77号, 9月)
- ・報告 ワークショップ「廣田孝著『竹内栖鳳: 近代日本画の源流』について」(美学会全国大会, 11月12日, 広島大学)

齋藤 悦正

- ・共編著『東京都新宿区市谷砂土原町三丁目遺跡—(仮称)市ヶ谷・砂土原3丁目マンション建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』(財団法人新宿区生涯学習財団, 7月)
- ・論文「世直し証文に関する一考察—下野世直しにみる文書と民衆—」(『史料館研究紀要』33号, 3月)
- ・論文「百姓一揆にみる寺院と地域—天保11年三方領知替反対一揆を例として—」(『民衆史研究』64号, 11月)
- ・報告要旨「地域寺院と『藩世界』」(『岡山藩研究』41号, 10月)
- ・報告「地域寺院と『藩世界』」(岡山藩研究会全体会, 7月13日, 早稲田大学)
- ・報告「日本におけるEAD適用の問題点—国文学研究資料館史料館収蔵史料の場合—」(公開シンポジウム「情報社会とarchives—図書館・博物館・文書館をめぐって—」, 12月24日, 国文学研究資料館)
- ・講義「江戸時代の寺院と村社会」(栃木県立文書館主催古文書研修会, 10月22日, 宇都宮市)
- ・講義 東京都府中市郷土の森博物館 歴史講座II (古文書中級講座)

